

美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ  
Duo

デュオとはイタリア語で「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局

## 男性の育児休業取得は 進んでいるの？

問題 育児に積極的に参加する男性の  
ことを何というでしょう？

ヒント 「〇〇メン」

さて、皆さんはこの問題に答えられますか？

答えはズバリ「イクメン」。美男子を意味する「イケメン」ではありません。

数年前に流行したこの言葉、今やすっかりと世間一般に定着し、広く知られるようになりましたね。皆さんも一度は耳にしたことがあるでしょう。

つい先日も、  
未来の国王が誕生したばかりのイギリスにおいて、ウィリアム王子自らが赤ちゃんのオムツ替えをするなど、そのイクメンぶりが早速話題になっていました。

ところで、我が国日本において「肝心の、男性による育児休業取得は果たして進んでいるのだろうか？」「言葉やイメージばかりが先行していないだろうか？」そんな疑問を持ったことはありませんか？



厚生労働省によると、2011年度の育児休業取得率は女性が87.6%だったのに対し、男性はわずか2.6%にとどまっています。男性は前年度より1.29ポイント上昇しているのですが、男性の育児休業取得率が10%を超えるイギリスやドイツにはまだまだ及びません。この結果からみても、日本の男性の育児休業取得が進んでいるとはいがたいですね。

それもそのはず、どれだけ制度が変わろうとも、職場の理解や体制、意識などが変わらなければ、男性が積極的に育児休業取得に踏み切れるはずもありません。「男に育児なんて必要ない！」「人員不足なのに、自分が休めば職場のみんなに迷惑がかかるし…。」「ただでさえ不況なのに、むやみに休めば自分の印象が悪くなるのでは？」など、育児休業取得に抵抗がある男性も多いのではないのでしょうか？



ニッセイ基礎研究所が行った調査では、30%以上の男性が育児休業制度や短時間勤務制度を「利用したい」と考えている一方で、共働きの男性の86.3%が「育児休業を取得しにくい」と回答しています。



以上のことから、男性が育児休業を取得したくても取得できる環境がまだまだ整っていないことがうかがえます。

## 男性の育児休業取得に対する 日本生命保険の取り組み

さて、前ページでは、男性の育休取得がなかなか進んでいないことについてご紹介しました。

そんな中、日本生命保険では、男性社員に育児休業を取得させる取り組みを始め、話題になっています。

対象となるのは、2011年の10月以降に生まれた子どもを持つ、全男性社員。現状では長期間の取得が難しい社員も多いため、まずは有給扱いになる1週間ほどの休暇を消化させ、男性の育児参加と意識改革を進めるようです。

もちろんこの取り組みが“なあなあ”で終わらないような工夫もきちんとされています。

対象者がスムーズに休暇を取得できるよう、上司と年間の業務スケジュール調整などを行うほか、育休を取得した男性から、効率的な業務の進め方や育児に関する体験談などを集め、社内ホームページで公開。社内投票を行うことで、モデルケースを作り出し、男性の育児に対する意識を高めるとともに女性職員が、仕事と育児を両立しやすい職場環境を生み出すのだそうです。



三菱UFJリサーチ&コンサルティングが行った調査によると、女性正社員が妊娠・出産前後に退職した理由の26.1%が「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた」というもの。中には「解雇された」「退職を勧められた」という女性もいるようです。

以上のことを考えると、まだまだ男性の育休取得率が低い日本にとって、同社の取り組みは、男性の育児参加を促すだけで



なく、女性の社会進出にも大きな影響を与える、非常に先進的な例と言えるかもしれません。

\*-\*

男性の育休取得について議論する際、必ず話題に挙がる事柄があります。それは、「男性が育休を取得するなんて現実的に無理がある」というもの。

もちろん周囲の無理解や人員不足など、解消しなければいけない問題がたくさんあることは事実です。しかし、女性の社会進出が進んでいる以上、「無理」の一言で片付けてしまうこと自体が、もはや「無理」と言えるかもしれません。

日本生命保険の「まずは」1週間、という「できることを少しずつやって行こう」という考えと、それを実行に移す行動力が行政はもちろん、各企業に求められているのかもしれない。

## 「おかあさんといっしょ」だけじゃもう古い？「おとうさんといっしょ」が4月よりスタート

『NHK「おかあさんと一緒」はないでしょう。今や子育て父さんも一緒』

これは本会会員F・Tさんによる句で、2008年8月に発行した会報第10号の「Duoの唄」に掲載したものです。

子育てに奮闘するF・Tさんの素直な思いが表現されたこの句。5年越しでやっと思いが届いたのか、今年の4月からNHKのBSプレミアムにおいて「おとうさんといっしょ」がスタートしました。



本家である「おかあさんといっしょ」の放映が始まったのは1959年10月。



実に54年もの年月を経て、やっと「お父さん」の時代が到来したといったところでしょうか？

さて、この「おとうさんといっしょ」。「うたのおねえさん」や「体操のおにいさん」、一般の子どもたちが登場するところは「おかあさんといっしょ」とさほど変わりません。

主な内容としては、故障ばかりの蒸気機関車がのんびりと走る鉄道会社「レオレオレーるうえい」で巻き起こる、ちょっと不思議なできごと



やドタバタな日常が歌や踊りを交えて楽しく描かれています。また、子どもたちの遊びたいエナジーを感じ取ったヒーロー「遊び戦士 イチジョウマン7」が、全国の親子のもとへ駆けつけ、ダイナミックな身体あそびや自然の中での冒険あ



そびなどを紹介し、週末のお父さんを応援するというユニークなコーナーも設

けられています。

「おとうさんといっしょ」ならではのコーナーがこれからも増えることを期待したいですね！

## DV・デートDVに悩む方のための相談窓口

市や道では、配偶者や交際相手からの暴力等に悩む方からの相談をお受けしています。配偶者の方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護、配偶者の接近禁止などの申立制度などが定められています。配偶者暴力やデートDVでお悩みの方は、下記までご相談ください。



●美唄市役所企画課 ☎0126-63-0113（平日8時45分～17時15分）

●配偶者暴力相談支援センター（空知総合振興局内）☎0126-25-5648（平日9時～17時）

## デュオの会屋外活動

デュオの会では、同会の存在や活動内容を知っていただくため、8月の歌舞裸まつりと2月の美唄雪んこまつりにおいて、来場者の方に会報を配布し、PR活動をしています。



今後もより多くの方に「男女共同参画」について知っていただくために、さまざまな活動を行ってまいりますので、会報「Duo」をぜひご一読ください。

## Duoの唄

このコーナーでは、主に会員から寄せられた、男女共同参画に関するさまざまな思いを綴った唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを、川柳のような短い言葉で表現したものです。

会員以外の方からの唄も大歓迎ですので、自身で作った句を、ぜひ会報に載せてみませんか？興味のある方はぜひ事務局まで。

イクメンと  
言われる息子  
育休中  
ペンネーム Y子

トイレの神様  
どうぞ美男美女に  
して下さいな  
ペンネーム ひまわり

## 編集後記

4月から「おとうさんといっしょ」が始まったことを知り、小さい頃に「おかあさんといっしょ」をよく見ていた身としては、時代も変わったんだなぁと感ずいてしまいます。昔、総合体育館（だったかなあ？）であった「おかあさんといっしょ」のコンサートを見に行った時のこと。自分は「にこにこぷん」の「ぼろり」というキャラクターがお気に入りだったのですが、コンサートで記念に配られたグッズは「じゃじゃまる」という別のキャラクターのもの。「ぼろりが欲しい〜」と大泣きしたのは良い思い出です。（M・K）

## 「美唄市男女共同参画推進協議会（通称Duoの会）」会員募集中！

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域で身近に取り組める実践を目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆問合せ・入会申込など◆

事務局（美唄市役所企画課内）

TEL 0126-63-0113へ